Year: 2014
Location: Japan
Program: 美術館

大分県立美術館



大分市中心市街地の街並みであるビル街のコンテクストをくみ取り、単純な箱型の美術館とした。通常あまり美術館に行かない市民をも自然に招き入れることを最大のテーマとした。1階は巨大な無柱空間のアトリウムとなっており、その中に気密性、遮音性をもった可動展示壁で、自由に間取りを変更できる展示室Aがある。閉鎖的な展示や、アトリウムと一体の展示も可能となる。建物正面の外装にはガラス水平折戸を設け、開放するとアトリウムは半屋外空間となり、街に開かれた展示やイベントなど多目的に利用可能となっている。3階は1階とは対照的に、オーソドックスで閉鎖的な企画・常設の展示室を計画した。3階外壁は木質ハイブリッド集成材と杉無垢材のブレースを重ね、構造体のパターンがそのまま、大分の伝統的な竹工芸のような意匠となる。